

# 小山実稚恵

デビュー40周年記念

ピアノリサイタル

日本を代表するピアニスト・小山実稚恵。

関内ホール2度目の登場となる今回は、ベートーヴェン(1770-1827)のピアノソナタの集大成ともいえる『後期三大ピアノソナタ』を演奏します。

ベートーヴェンは全32曲のピアノソナタを作曲していますが、

特に最後の3曲は、芸術の高みに到達した難曲として知られています。

苦悩の中で探求を続けたベートーヴェンと向き合い、

次の一步を踏み出した小山が作品に込める思い、円熟した魅力を存分にご堪能ください。



©Hideki Otsuka

## 小山実稚恵 (ピアノ) Michie Koyama, Piano

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキーコンクール、シヨパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。

協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、数多くの演奏会にソリストとして指名されている。

2016年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した『12年間・24回リサイタルシリーズ』(2006年~17年)や『ベートーヴェン、そして...』(2019年~21年)が、その演奏と企画性で高く評価された。2022年からはサントリーホール・シリーズ、第Iシーズン Concerto〈以心伝心〉を開催している。2025年は、デビュー40周年を迎え、フェドセーエフ指揮東京フィル&フェドセーエフ・フレンズとの記念公演を予定している。この公演は、サントリーホール・シリーズ、第Iシーズン Concerto〈以心伝心〉の最終回となり、サントリーホール開館記念日に行われる。

これまで共演したオーケストラとして、国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ放送響(現チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、イギリス室内管、ロッテルダム・フィル、シンフォニア・ヴォルソヴィア、ワルシャワ・フィル、モンリオール響、ポルティモア響などが挙げられ、フェドセーエフ、テミルカーノフ、マリナー、小澤征爾といった国際的指揮者と共演している。デュメイ、ギトリス、ブルネロといった名だたるソリストと室内楽で共演する。

シヨパン、チャイコフスキー、ロン=ティボー、ミュンヘンなど、国際音楽コンクールの審査員も務める。

また東日本大震災以降は、被災地の学校や公共施設などで演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案し、ゼネラル・プロデューサーを務める『こどもの夢ひろは"ボレロ"』を開催。音楽を通しての心の交流の場、音楽に限らず子供たちが新たな体験をしながら、自分の好きなものを見つけられるような場を創りたいと、情熱を注ぐ。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、33枚をリリース。近作の2つのベートーヴェン・アルバム『ハンマークラヴィーア・ソナタ他』(2020年)と『ピアノ・ソナタ第30、31、32番』(2021年)は、深化するピアノイズムが大きな話題を集めた。さらに2023年5月にリリースされた最新アルバム『モノローグ』まで7作連続して「レコード芸術」特選盤に選ばれた。

著書として『点と魂とースイートスポットを探して』をKADOKAWAより、また平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』(全2巻)を音楽之友社より出版している。

2005年度 文化庁芸術祭音楽部門大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞、2013年度レコード・アカデミー賞(器楽部門『シャコンヌ』)、2015年度 NHK交響楽団「有馬賞」、2015年度 文化庁芸術祭音楽部門優秀賞、2015年度 ミュージック・ベンクラブ音楽賞受賞、2016年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2018年度 大阪市民表彰を受ける。2017年度には、紫綬褒章を受章している。

東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。

横浜市市民文化会館  
関内ホール  
YOKOHAMA KANNAI HALL

〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1 tel. 045-662-1221

JR「関内駅」北口徒歩6分/横浜市営地下鉄「関内駅」9番出口徒歩3分/

みなとみらい線「馬車道駅」5番出口徒歩5分

※駐車場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



やむを得ない事情により、曲目等変更になる場合がございます。また、会場内での写真撮影・録音・録画はお断りします。発熱や体調不良時には来館や来場をお控えください。ご来場のお客様には、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。